



2014年10月10日

各 位

会 社 名	キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 山下 正弘 (コード番号 4569 東証第1部)
問 合 せ 先	コーポレートコミュニケーション統轄部長 宮木 修次
電 話 番 号	03-3525-4707

### イミダフェナシンのロシア及び周辺諸国における開発及び販売等に関する基本契約締結について

キョーリン製薬ホールディングス株式会社の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮下三朝、以下「杏林製薬」）は R-Pharm CJSC（本社：ロシア モスクワ、Chairman of the Board, Founder : Alexey Repik、以下「R-Pharm」）と、この度、杏林製薬が創製した過活動膀胱治療剤「イミダフェナシン」（以下「本剤」）のロシア及び周辺諸国における開発及び販売等に関する基本契約を締結しました。

今回の契約締結により、杏林製薬は R-Pharm に対し、ロシア及び周辺諸国における本剤の独占的開発権及び販売権等を供与することになります。

本剤はムスカリン受容体サブタイプのM3及びM1に対して選択的な拮抗作用を示す新規の抗コリン剤であり、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善します。また、本剤は膀胱選択性が高く口渇が少ない薬剤です。日本では杏林製薬と小野薬品工業株式会社が、各々「ウリトス<sup>®</sup>錠0.1mg」及び「ステープラ<sup>®</sup>錠0.1mg」の製品名で2007年6月に発売し、2011年4月には追加剤型としてOD錠（口腔内崩壊錠）を発売しております。

杏林製薬は日本国内での市場浸透を図り過活動膀胱の諸症状に苦しむ患者さんの QOL 向上に貢献する一方、このたびの契約により R-Pharm と提携しロシアでのイミダフェナシンの普及を図り、グローバルな事業展開を推進します。

なお、今回の契約締結による 2015 年 3 月期の連結業績予測に与える影響は軽微です。

以上

## 参考資料

### ◆R-Pharm CJSC について

設 立：2001 年 8 月

社 長：Chairman of the Board, Founder：Alexey Repik

売 上 高：約 15 億ドル（2013 年度）

従 業 員：約 2,800 人（2013 年度末日現在）

概 要：P-Pharm は 2001 年に設立された株式非公開のロシアのハイテク製薬会社です。2,800 人以上の従業員、40 以上の支店を有し、ロシア及び独立国家共同体、米国、ドイツ、日本、トルコ、中央・北アフリカ並びにインドをカバーしております。同社は、病院とスペシャルティケアを専門として、様々な疾患領域に対し革新的な医薬品の研究開発、製造、マーケティング及び流通を行っております。また、同社はロシア国内ではヤロスラヴリ、コストロマ、ノヴォシビルスクの 3 箇所、ロシア国外ではドイツに GMP 準拠の製造工場を、ロシアのロストフに同準拠の原薬工場を有しております。詳しくは、[www.r-pharm.com](http://www.r-pharm.com) をご覧ください。

### ◆杏林製薬株式会社について

設 立：1923 年 12 月

代 表 者：代表取締役社長 宮下三朝

売 上 高：97,662 百万円（2013 年度）

従 業 員：1,780 人（2013 年度末日現在）

概 要：患者さんや医療に携わる方々から信頼され、社会に存在意義を認められる健康貢献企業を目指して、特定領域におけるプレゼンスの向上とグローバルな自社新薬の創製に取り組んでいます。営業においては呼吸器科、耳鼻科、泌尿器科を中心とするユーザーに重点化する FC（フランチャイズ・カスタマー）戦略を展開し、自社創薬においては呼吸器・泌尿器・耳鼻科を重点領域としています。

### 【過活動膀胱（OAB ; Overactive Bladder）とは】

蓄尿障害を示唆する症状症候群で、尿意切迫感を主症状とし、通常これに頻尿や夜間頻尿を伴い、場合によっては切迫性尿失禁を伴います。トイレの不安のために外出を控えたり、夜間の睡眠が十分取れなかったりと日々の行動が制限され、患者さんの QOL が著しく低下してしまうことが OAB の大きな問題となっています。過活動膀胱の治療には、主にムスカリン受容体に対して拮抗作用を示す抗コリン剤が有用とされています。しかし、同時に薬理作用に随伴する口渇（口内乾燥）等の副作用のため、継続した服用が制限されることもあります。